



5月の予定



2026年4月20日
野毛山幼稚園

月主題 月のねがい

今月の聖句

これは、主がなさったことで、
わたしたちの目には不思議に見える。

マルコによる福音書12章11節

わたしたちの世界は不思議で満ちていて、おとなはいつものまにか不思議を見逃し、当たり前だと思っ
ています。子どもたちの世界はいきいきとして新鮮。
「不思議」でいっぱいです。子どもたちは「どうして？」
「なぜ？」とおとなに問いかけますが、おとなは時に二
つ返事をしたり、いい加減に答えてしまう時がありま
す。みずぶさんの「不思議」という詩の中でもそう言っ
ています。(みずぶさんの心vol.3参照)

今月の聖書の言葉の前に、イエスさまは「ぶどう園の
主人のたとえ話」を語られています。こんなお話です。
ぶどう園の主人は農夫に畑の管理を頼んで旅に出ま
した。収穫の時になったので主人はしもべを送って収
穫の一部を収めるように命じましたが農夫は応じませ
ん。次に他のしもべたちを送りましたが、傷を負わせ
たり、殺してしまったりと仕打ちはエスカレートしま
した。主人は、自分の息子だったら敬ってくれるだろ
うと思っ
て愛する息子を送りましたが、農夫たちは息子をとら
え、殺してしまいました。



とても、ひどい話です。このたとえ話は難解で、イエ
スさまが話をされたときには弟子たちには本当の意味
がわかりませんでした。主人は神さま、そして息子と
はイエスさまのことです。神さまはわたしたちのため
にひとり子イエスさまを送ってくださいましたが、人
々は受け入れずに十字架にかけて殺してしまっ
たということ
です。この話の意味がわかったのは、イエスさまが
十字架にかかれた後のことでした。

この世界に起こっていることは、また、自分の身に
起こったこと...その時、わたしたちには意味のわ
からないこともたくさんあります。けれどもあとに
なっ
てわかるものがあるものです。神さまがなされる
ことはわた
したちの目には不思議に見えることがあるのです。
神さまに信頼し、過ごしてまいりましょう。

主題	年少もも組	年中ばら・年長くるみ組
かんじて (年少)	保育者の祈りや聖書の話を通して、神さまがいつもともにいてくださることを感じる	生活の中で、神さまの創造された世界の恵みと数々の不思議にであう
なんでだろう どうしてだろう (年中長)	好きな遊びを繰り返したり、友だちや保育者のやっていることに興味をもち心や体を動かす 絵本やわらべ歌、ダンスなどを通して、保育者や友だちとともに楽しい経験を重ねる	好奇心や探求心を働かせ、友だちや保育者とともに興味のある遊びを楽しむ 身近な草花や虫、木々、風などに触れ、身の回りにある様々なものの命を感じる

予 定	日	曜	予 定	備 考
	1	金	ランチ始まり(年少もも組)	
	4	月	みどりの日	休園
	5	火	こどもの日	休園
	6	水	振替休日	休園
	7	木	母の日の集い(年少もも組)	9時20分 教育館2階
	8	金	母の日の集い(年中ばら組)	9時20分 教育館2階
	11	月	母の日の集い(年長くるみ組)	9時20分 礼拝堂
	13	水	5月誕生会	11時30分降園
	20	水	遠足(根岸森林公園) 予備日 22日(金)	現地集合現地解散 詳細後日



年 少(もも組)	年 中(ばら組)	年 長(くるみ組)
保育者や友だちと遊ぶ中で安心感を持つ。	春の自然を感じながら遊ぶ。	春の自然を感じながら遊ぶ。
自分でできる身の周りのことは自分で行う。	固定遊具の安全な使い方を知り、園内のルールを守って遊ぶ。	凶鑑を見て不思議なことを調べたりする。
手遊び、歌、ダンス、体操などみんなでする活動に喜んで参加する。	お母さんの日を知る。	母の日について考え、プレゼント作りをする。
お母さんの日を知る。	お母さんについて話し合ったり、プレゼントを作ったりする。	お母さんへ感謝の気持ちを表す。
お母さんの仕事を知る。	お母さんと一緒に礼拝し、遊ぶ。	月刊絵本を楽しむ。
バードウィークを知る。	バードウィークを知る。	集団遊びを楽しむ。 
身近な動植物に親しむ。	身近な動植物に親しむ。 	(かごめかごめ・なべなべ・猛獣狩りなど)
友だちと一緒にランチを食べる。	ルールのある遊びに参加し、楽しんで遊ぶ。	バードウィークを知る。
食事の習慣を身につける。 (食前のお祈り・挨拶・食事の仕方・食休み等)	音楽にのって体を動かす心地よさを味わい、動きを楽しむ。	友だちと遊びのイメージを共有しながら継続した遊びを楽しむ。
遠足に元気に参加して、楽しむ。	遠足に元気に参加して、楽しむ。	遠足に元気に参加して、楽しむ。